

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



映像セミナーをしているスタッフのヨハネさんと熱心に学んでいる子どもたち(カンボジア孤児院)

皆さまの尊い御支援、御協力、ありがとうございます。

9月の中旬に私共の理事数名を含むグループが、カンボジア孤児院の視察へ行ってきました。子供達は大変喜んで歓迎してくださり、また、最近孤児院に入ったばかりの子供達も、既にまわりの子供達に大変良く馴染んでいたことが印象的だったそうです。聞けば、孤児院の先輩にあたる子供達の面倒見が大変良く、その結果、来たばかりの子供達もかなり早く孤児院に馴染めたそうです。子供達が、人として良い成長をしている旨の報告を受け、また、孤児院自体も、かなり成長してきていることの証として、大変嬉しく思いました。

これも、パートナーの皆さまの御力あってのことです。本当に感謝致します。また、カンボジア孤児院では現在、国際NGOの更新時期になっており、手続きの最中ですが、カンボジア政府の対応も毎回変化しており、なかなか大変なようです。しかし、もうしばらくすれば、無事更新の報告が来るものと思います。

フィリピンやザンビアの孤児院も皆さまの御支援により働きが進んでおりますが、やはり、運営費の不足を痛感することが多々あります。

どうかこれからも、皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。9月初旬、礎の石孤児院東京事務局のスタッフ数名と、その他の日本人、総勢20名が孤児院を訪問されました。今回は1年に1回、子ども達がとても楽しみにしている海水浴も皆さんと一緒に行くことが出来ました。現在も雨季が続くカンボジアで、皆さんが滞在される期間は何とか雨が降らないようにと願ってましたが、海水浴の日は快晴で楽しい1日を過ごすことが出来ました。また、バーベキューも、雨が降らず予定通りに行くことが出来て、本当に助かりました。今回は、恒例となっているボーリングと共に、子ども達はアイススケートにもチャレンジしましたが、スケートリンクの寒さも初めて体験し、また、訪問チームの中にはかなりの腕前の方もおられて、いろいろ教えて頂き、思った以上に滑れるようになった子もいて、とても楽しい時間だったとのことでした。今回は、いつもよりたくさんの方々の方々の来訪に子どもたちも喜び、また、沢山のご支援の品々も届けて下さいました。本当に、ありがとうございました。



お天気の中で、楽しかった海水浴でした。皆さんと一緒に記念撮影。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援を心から感謝致します。

10月3日、4日に学期中間テストが行われました。10月5日は国際教師の日でしたが、その日授業はなく、先生方に感謝する行事が行われました。礎の石孤児院のスタッフで、スアワン高校の教師をしているグレースのクラスでは、生徒たちが彼女のためにサプライズパーティーを用意してくれていました。

10月26日はユナイテッドネーションの行事があり、子どもたちは、各々いろいろな国の代表となり、担当する国の民族衣装を着て、その国を紹介します。その日に向けてイタリアとベルギーと米国の衣装を作らなければなりません。今年度の就学支援生50名のために、現在まだUS\$4,470(1ドル=112円換算で約50万円)が不足しています。

引き続き、皆様のご支援を心からお願い申し上げます。



国際教師デイのグレースのクラスの様子。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に、心から感謝申し上げます。今月末から1ヶ月に渡って、高校卒業の最終試験が行われます。卒業後に来日して、日本で技術を学ぶ事を願っている2人のために、多くの情報と支援を必要としています。現在のところ、農業と、その経営を学ぶことが、将来ザンビアに戻って起業するのに最も良い道と考え、その方向で受け入れ先を求めているところです。なかなか道は険しいのですが、受け入れに関心のある方は、是非事務局に連絡をいただけたらと思います。保護しているストリートキッズは皆元気ですが、まだストリートにいつ、私たちの支援を受けている若者たちは、日々多くのトラブルに巻き込まれています。警察への対応や、ケガ、病気の対応など、様々な働きに忙しくて、精神的にも疲労困憊しがちな中であって、ガソリンが数日前より20%値上がりし、それに乗じて物価も早速上がりました。様々な場面で経済の不足に悩まされています。どうか皆様の更なるご支援を、心よりお願い申し上げます。



ようやく雨が...

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。ようやく待ちに待った雨がやってきました。先週は一日中雨が降る日があり、湿度が70パーセントにまで上がりました。湿度が90パーセント以上の日本から突然20パーセント以下のアラサトゥバに来て、皮膚がカッピカピ、ゴワゴワになっていましたが、空気に潤いを感じられるようになり、日本は恵まれていると痛感しました。先月は隣り町ゲアラパスにある礎の石孤児院の所有地の土地税申告をし、無事に税金を払うことができました。この税金はブラジルならではの、インターネットでしか払うことができず、8月末にネットにプログラムが掲載され、9月末で締め切られます。非常に複雑で神経を使う作業で、私の内では一年一度の大イベントとなっています。一年中今か今かと待ち構え、気づくと期限が過ぎているということが多いのですが、今年は日本から戻ったらまずそれをやるといつも心に思っていたので、意外にスムーズに事が運びました。皆様の尊いご寄附によって今年も土地の税金を支払うことができました。心より感謝いたします。さらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



シェアハウスの前で松本スタッフ